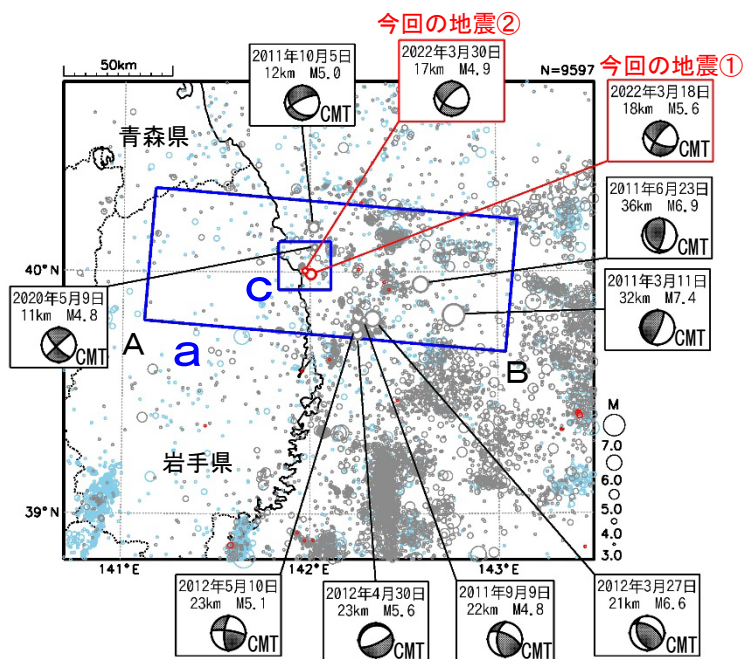


3月18日、30日 岩手県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2022年3月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を水色、
2011年3月11日以降に発生した地震を灰色、
2022年3月に発生した地震を赤色で表示

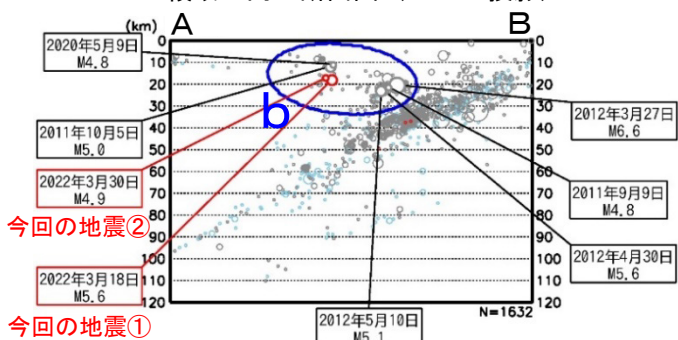


2022年3月18日23時25分に岩手県沖の深さ18kmでM5.6の地震（最大震度5強、今回の地震①）が発生した。また、30日00時18分にほぼ同じ場所の深さ17kmでM4.9の地震（最大震度4、今回の地震②）が発生した。これらの地震は陸のプレートの地殻内で発生した。今回の地震①の発震機構（CMT解）は北北西-南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、今回の地震②の発震機構は北北西-南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震①により住家一部破損1棟などの被害が生じた（3月28日17時00分現在、総務省消防庁による）。

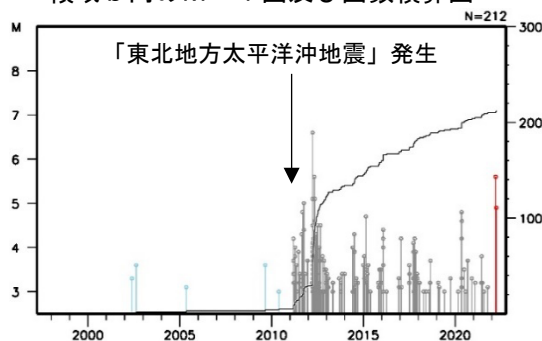
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前はM4.0以上の地震は発生していなかった。「東北地方太平洋沖地震」発生以降は地震発生数が増加し、M4.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、1995年1月7日には「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」の最大余震であるM7.2の地震（最大震度5）が発生した。

領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2022年3月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

